

「おめめきらきら」

「ぽっとん・ころころ」

にぎやかな0歳児のお部屋の食事風景です。

おーん

0ちゃん、かみかみ上手だね。

Nちゃん、じゃがいも食べてみようか。おいしいよ。はい。おーん

ごはんつぶとってあげるね

じゃがいもの味が気に入ったNちゃん。

手に取ったじゃがいもをパクリと口に投入

うれしそうな笑顔を向けた。

Nちゃん、じゃがいもおいしいね。良かったね。

スプーンやフォークを使いたい気持ちも出てきました。

うまく口に運べなくて、ホロホロこぼれちゃった。

自分でやりたい気持ちを受けとめながら、じりじりとフォローします。

ぽっくんできたね

口のまわりをふいてあげたり、濡れた衣服を着替えたり。にぎやかな食後の風景です。

きれいにしようね

濡れちゃったね、着替えようね

毎日のくり返しの中で、食べる楽しさや満足感が心と身体の成長につながっていきます。

おかわり「はこぼすしませるし血は、ひっくり返し...」(うちも)

ごはんの時は、バチャバチャになるかいせ。

子どもたちの活発な動きとおかわりさんたちの忙しい毎日が、うかがえます。ティッシュやふきんなど、食事の前に準備しておきましょう。

うれしい、楽しい経験を重ねながら、瞳をキラキラと輝かせている子どもたちの「今」を温かく見守り、共感したりしながら、次のステップへの援助をしていきたいと思っています。

コップやペットボトル、かじなどの入れ物に何でも入れてみたい0歳児のPちゃん。じっくりとあそんでいます。

コップ

へビベットのすきまにおもちゃを入れたり

カチャカチャ

園庭に出ると、溝に小石を落としてみたりになります。

ポンポン

ここで、ペットボトルのキャップを2つつけて、ミルク缶のふたの穴から「ぽっとん」と落とせる「あそびおもちゃ」を作りました。

缶のふたから取れるので、くり返しあそぶことができます。

(キャップ2こ分)

好きなキャラクターの缶に興味しんしんのPちゃん。さっそく丸い穴にキャップを入れてあそび始めました。

ころころ

年齢の発達や興味・関心に応じた手作りおもちゃは、作っている段階から子どもたちのわくわく感を促らせています。手作りの温かさも伝わってきます。

どんなおもちゃがいいかなあ。

こんなとき、例えば「新聞紙をビリビリ」やぶったり、丸めたりして出来るボールも手作りおもちゃの一つです。時には親子で楽しんでみましょう。